

山武市子ども・子育てニーズ調査結果抜粋

〔調査概要〕

調査対象：就学前児童と小学生の保護者

調査方法：郵送による配布・回収、市内のこども園、保育・教育施設及び学校の協力を得て、留め置きで配布・回収

調査期間：就学前児童保護者 平成 25 年 12 月 20 日～平成 26 年 1 月中旬

小学生保護者 平成 26 年 1 月 10 日～平成 26 年 1 月末

対象者数：就学前 1634 件（抽出率●%）小学生 1360 件（抽出率●%）

回答状況：就学前児童保護者 回答数 758 件 回答率 46.38%

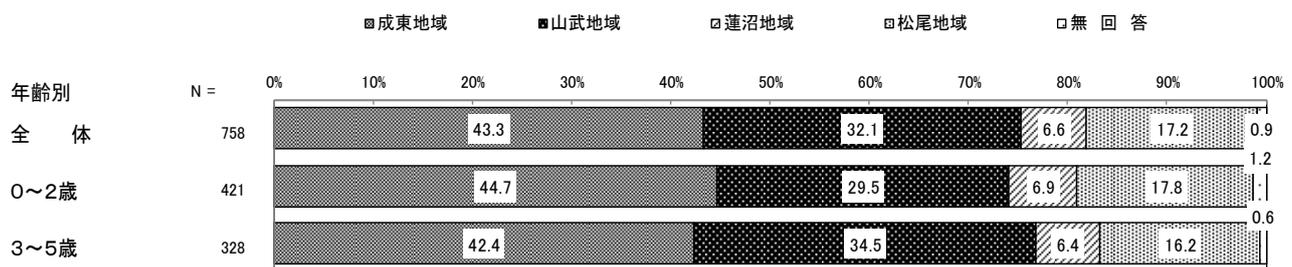
小学生保護者 回答数 1,096 件 回答率 80.58%

〔居住地域〕

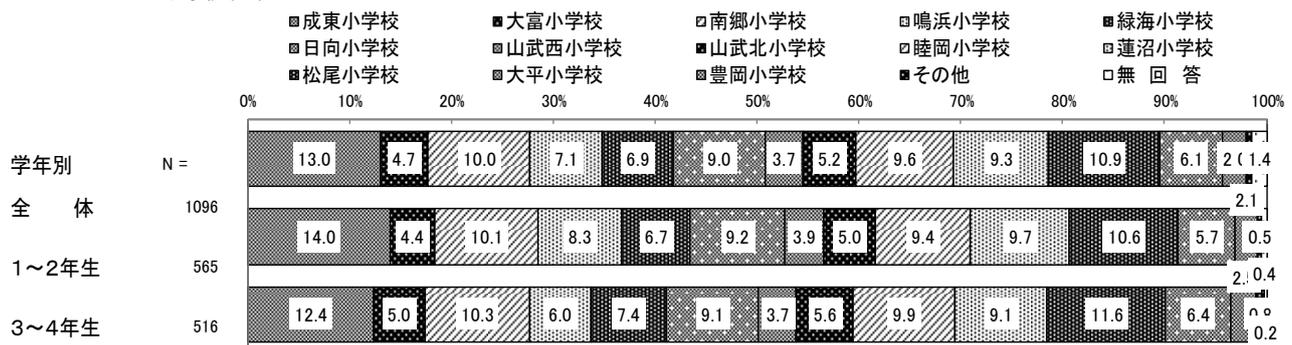
就学前児童保護者では、「成東地域」が最も多く、43%、ついで「山武地域」が32%、「蓮沼地域」が7%、「松尾地域」が17%である。

小学生保護者では、「成東小学校」が13%、「松尾小学校」が11%、「南郷小学校」「睦岡小学校」が10%で続いている。

居住地域[%]

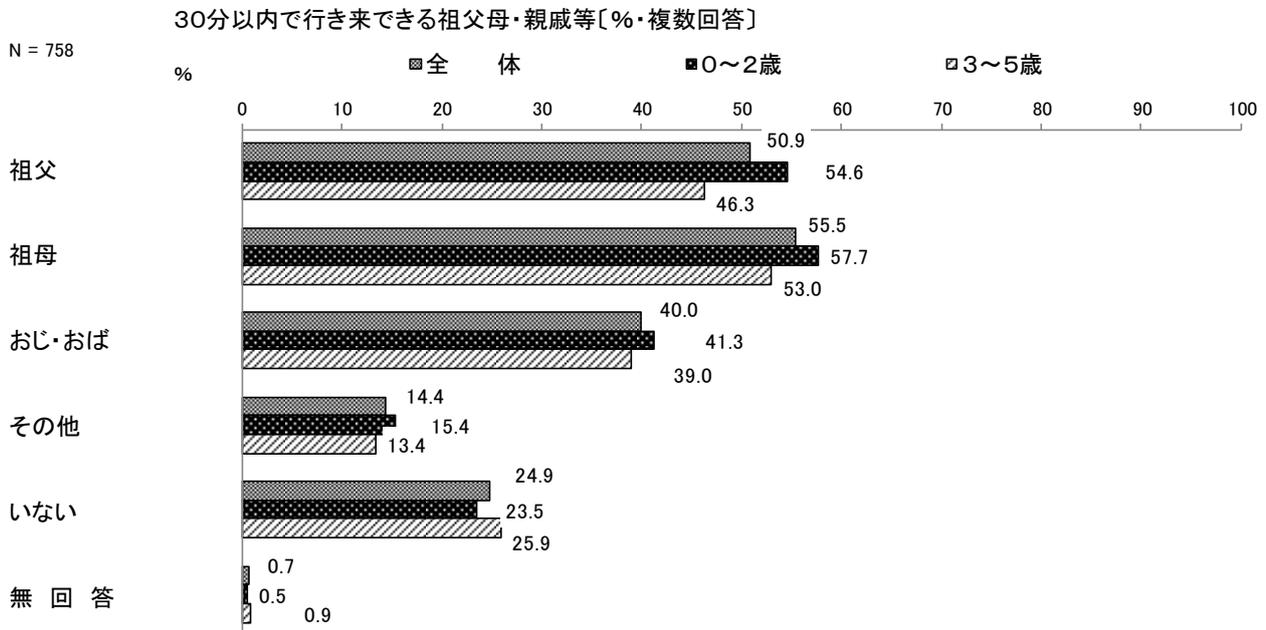


小学校[%]



〔世帯の状況〕

30分以内で行き来できる祖父母・親戚等は、「祖母」が56%と多く、「祖父」が51%、「おじ・おば」が40%である。「いない」は25%回答されている。3～5歳に比べて0～2歳では「祖父」「祖母」「おじ・おば」の割合がやや高い。

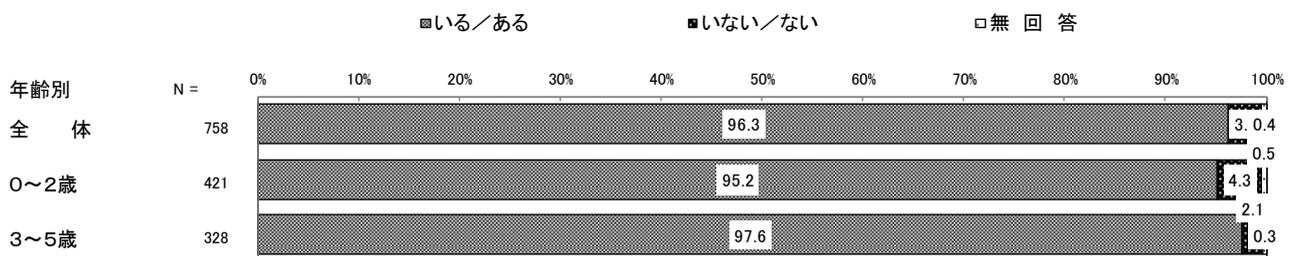


〔子育てに関する相談相手〕

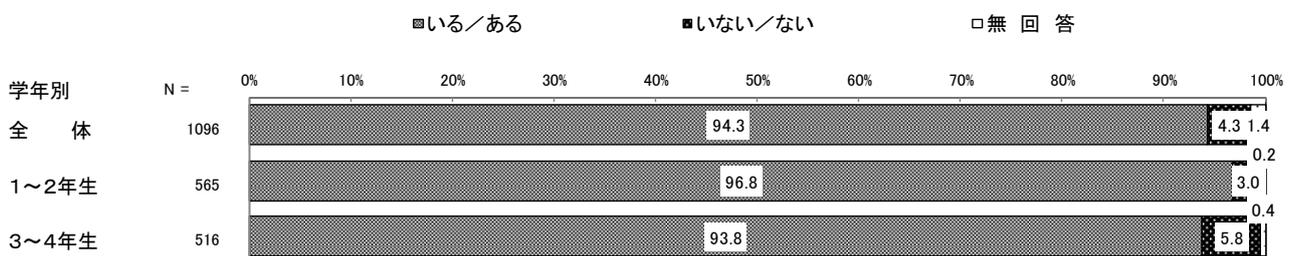
ほとんどが気軽に相談できる人・場所が「いる／ある」と回答している。就学前児童保護者では0～2歳の保護者の割合が若干低い。小学生保護者では3～4年生の保護者の割合が若干低い。

気軽に相談できる先として、就学前児童保護者では「配偶者や親族」が94%と最も多く、「保育先等の先生」が35%、「保育先等の保護者の仲間」が32%である。小学生保護者では「配偶者や親族」が92%、「保護者の仲間」が62%、「近所の人、友人」が54%となっている。

気軽に相談できる人・場所〔%〕



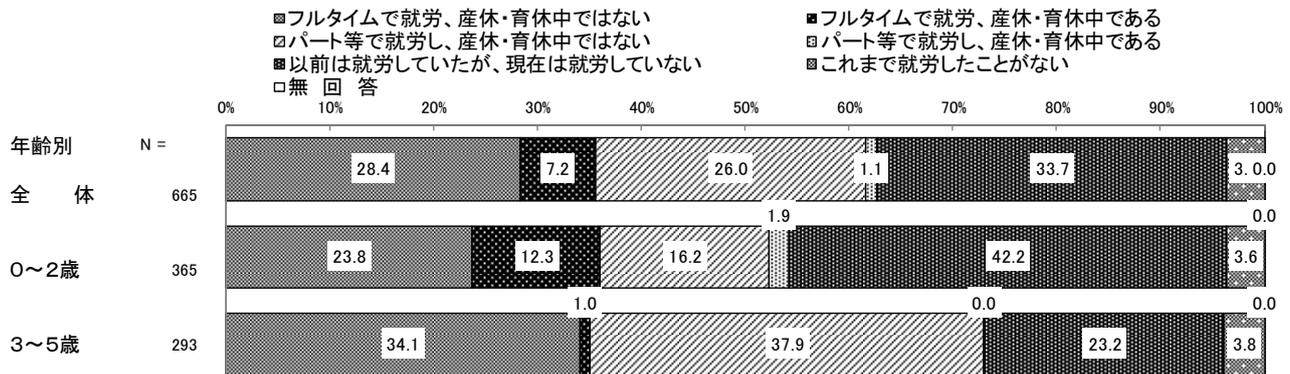
気軽に相談できる人・場所〔%〕



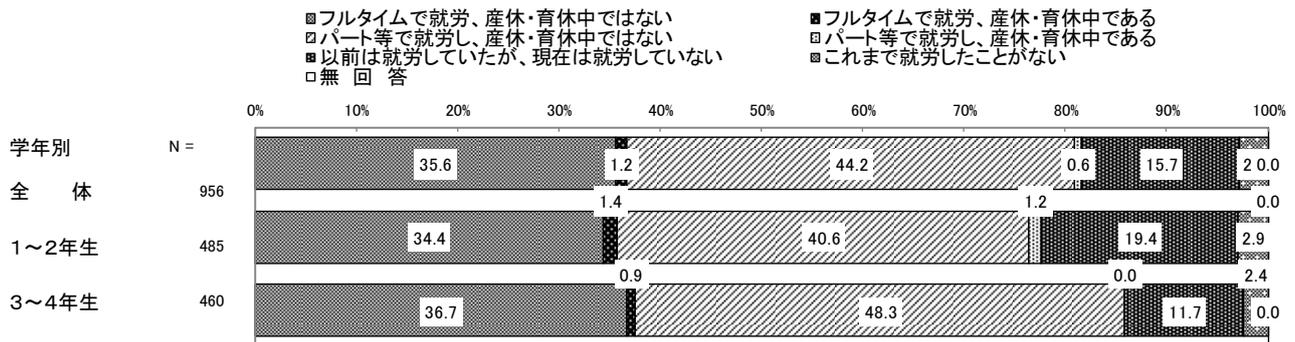
〔保護者の就業状況〕

母親の就労状況は、子どもの年齢が上がると就業率は高まり、パート等の就業が多くなっている。就学前児童保護者では0～2歳は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が42%だが、3～5歳では23%に低下し、フルタイム、パート等での就業率が上昇している。フルタイムでの就業率は0～2歳は24%、3～5歳は34%で、小学生保護者でも35%前後となっている。また、小学生保護者のパートでの就業率は44%と高い。

母親の就労状況〔%〕



母親の就労状況〔%〕

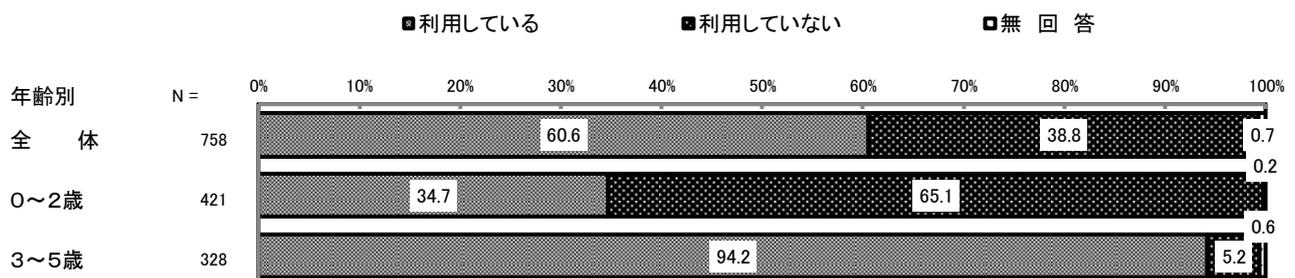


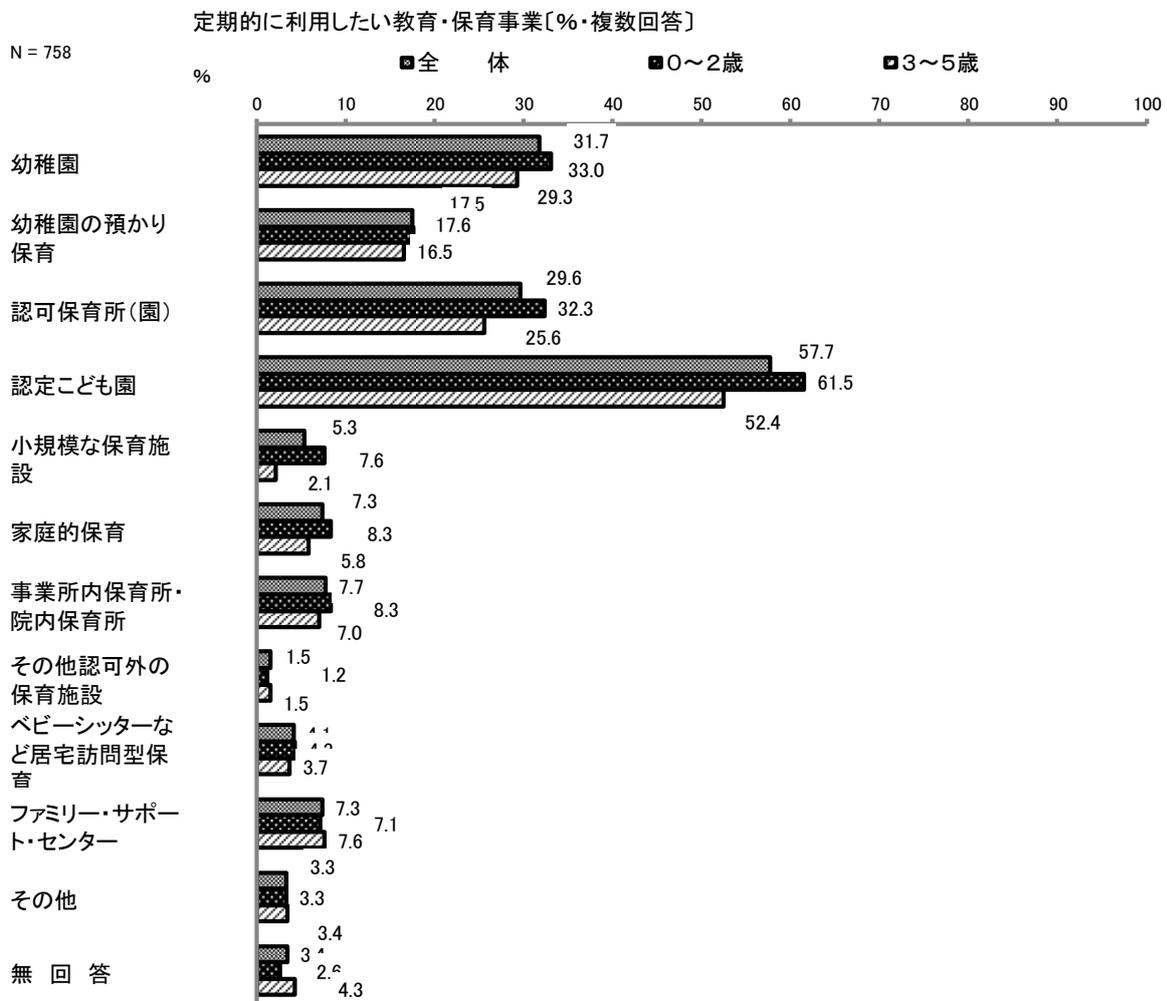
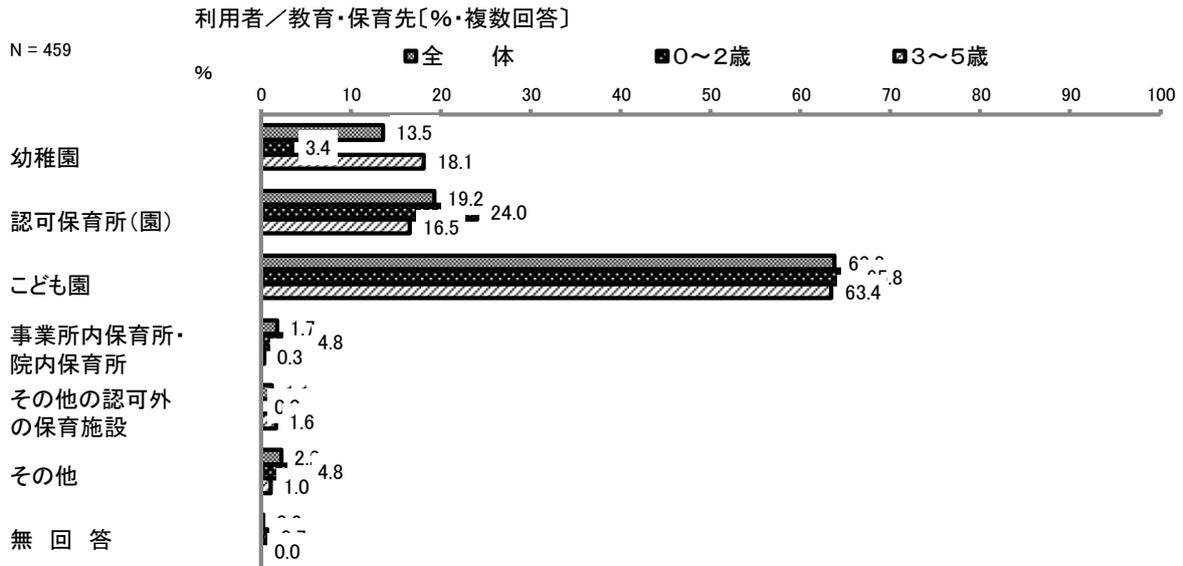
〔就学前児童の教育・保育先〕

定期的な教育・保育事業の利用は、3～5歳はほとんどが通園・通所しており、0～2歳では35%が通所している。通所・通園先は「こども園」が64%と多く、「認可保育所（園）」が19%、「幼稚園」が14%である。

定期的にご利用したい教育・保育事業については、「認定こども園」が58%、「幼稚園」「認可保育所（園）」が30%前後回答されている。

定期的な教育・保育事業の利用〔%〕

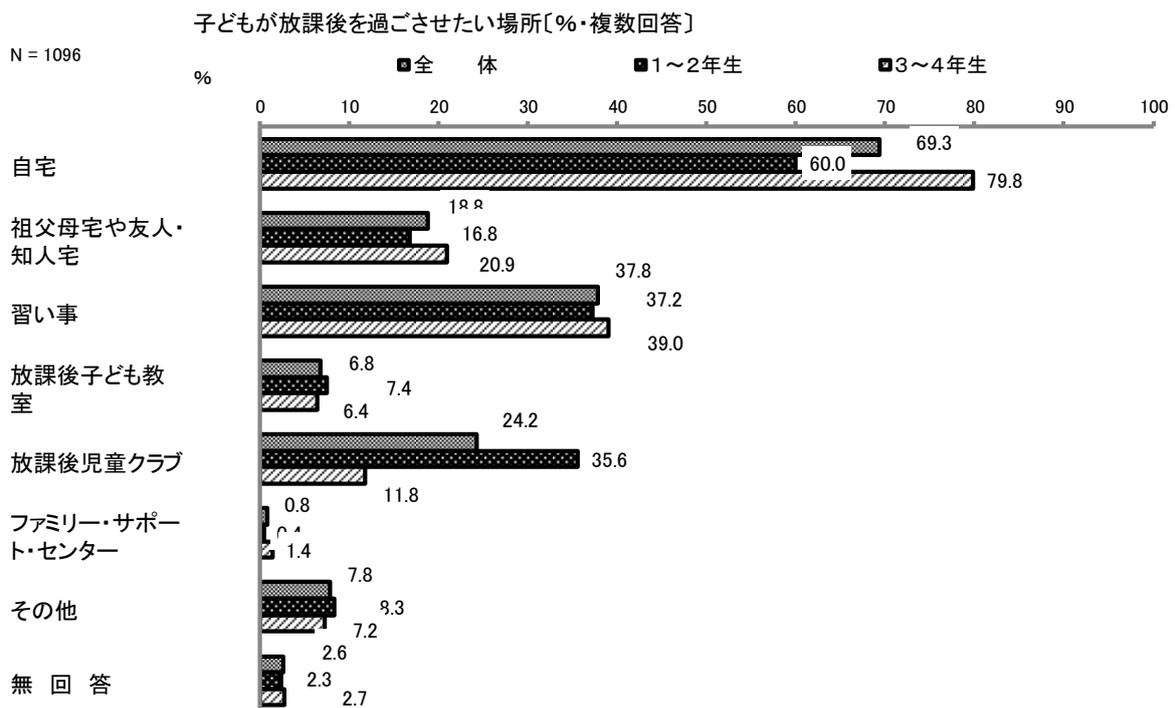
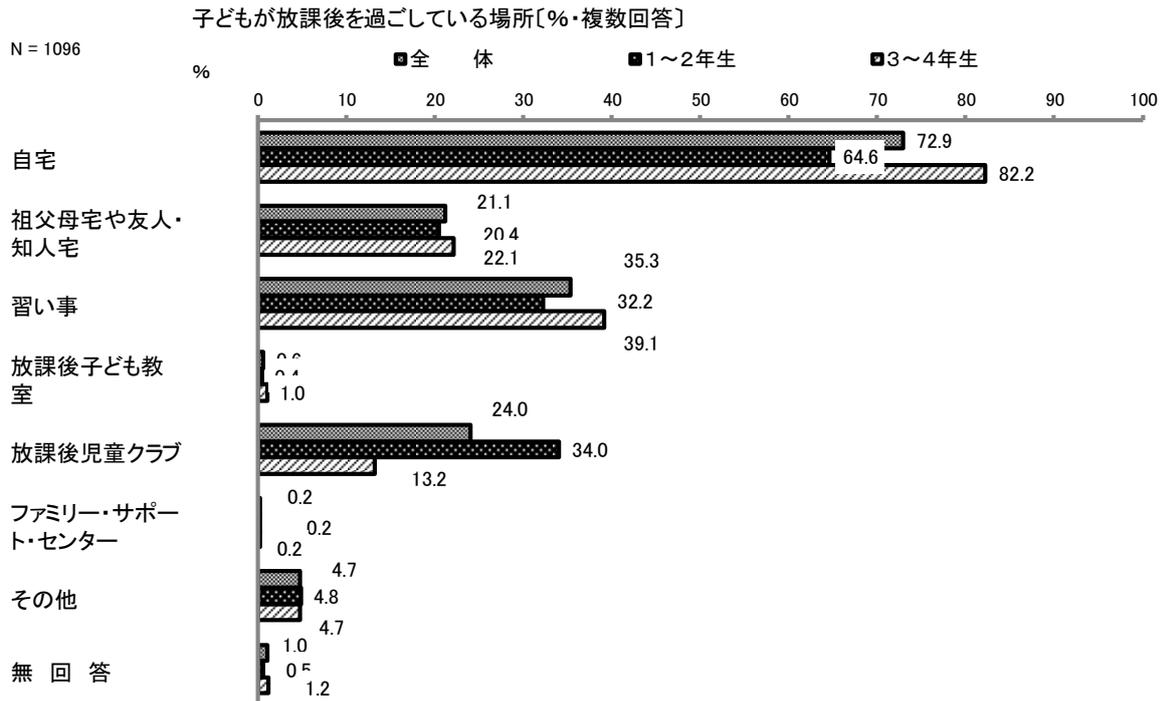




〔小学生の放課後の過ごし方〕

小学生が放課後を過ごしている場所は、「自宅」が73%と多くを占め、「習い事」が35%、「放課後児童クラブ」が24%、「祖父母宅や友人・知人宅」が21%で続いている。1～2年生は「放課後児童クラブ」が34%となっている。3～4年生は「自宅」「習い事」の割合が高くなっている。

放課後過ごさせたい場所は、現在過ごしている場所の割合と回答が同様の分布となっており、1～2年生で「習い事」の割合が現在よりもやや多くなっている。



〔市の子育て支援施策〕

子育て支援のなかでよいと思うものとしては、就学前児童保護者では「認定こども園」が52%と多く、「子育て支援センター」が49%、「図書館等の施設」が41%となっている。小学生保護者では、「図書館等の施設」が45%と多く、「放課後児童クラブ」が39%、「認定こども園」が34%となっている。

	就学前児童保護者	小学生保護者
1位	認定こども園 (52%)	図書館等の施設 (45%)
2位	子育て支援センター (49%)	放課後児童クラブ (39%)
3位	図書館等の施設 (41%)	認定こども園 (34%)
4位	放課後児童クラブ (33%)	保育園 (25%)
		地域の人たちの子育て支援・見守り活動 (25%)
5位	子育てや教育の情報の提供 (25%)	子育て支援センター (24%)

課題だと思うものとしては、就学前児童保護者では「遊び場の保守・整備」が51%と最も多く、「子ども連れの利用しやすい公共施設」が41%、「児童館等の施設」が19%となっている。小学生保護者では、「遊び場の保守・整備」が52%と最も多く、「子ども連れの利用しやすい公共施設」が34%、「児童館等の施設」が23%である。

	就学前児童保護者	小学生保護者
1位	遊び場の保守・整備 (51%)	遊び場の保守・整備 (52%)
2位	子ども連れの利用しやすい公共施設 (41%)	子ども連れの利用しやすい公共施設 (34%)
3位	児童館等の施設 (19%)	児童館等の施設 (23%)
4位	認定こども園 (17%)	交通安全や防災等の活動 (18%)
5位	交通安全や防災等の活動 (16%)	放課後児童クラブ (15%)

〔意見等〕

意見の記入率は、就学前児童の保護者が40%、小学生保護者は31%であった。前述の課題だ
 と思うことと同様に、遊び場に関することが多くみられる。

順位	就学前児童保護者	件数
1位	各地区ごとに子どもが集まって遊べる公園がほしい。公園が少なすぎる。公園があっても遊具が無かったりするので子どもが遊べない。遊具や設備を整えてほしい。	96件
2位	こども園の保育時間や受け入れ人数を見直してほしい。時間外保育や一時預かりを増やしてほしい。	24件
2位	歩道やガードレールを設置するなど、通学路の整備をしてほしい。	18件
4位	医療費助成の年齢を小学校3年生から小学校卒業、あるいは中学校卒業まで引き上げてほしい。隣接市町村では義務教育期間中に行っているところが多い。	16件
5位	どのような支援があるのか分かりにくく、情報が行き届いていない。市の広報だけでなく、ダイレクトメールを使うなど情報をもっとわかりやすく、広めてほしい。	14件

順位	小学生保護者	件数
1位	子どもが外遊びできる公園が少ない。各地域に公園を作ってほしい。現存の公園も遊具などを整備して、使いやすくしてほしい。	84件
2位	医療費助成の年齢は小学校3年生までだが、隣接市町村と同じように小学校卒業、あるいは中学校卒業まで引き上げてほしい。	72件
3位	安全、安心して登下校できるように通学路を整備してほしい。歩道やガードレール、横断歩道、街灯の設置。見守りパトロールもあるといい。	50件
4位	学童保育の時間を見直してほしい。18時半終了ではなく、19～20時にしてほしい。土曜日や長期休暇の預かり、一日単位での預かりなどを柔軟にしてほしい。	34件
5位	色々な年齢の子どもたちが集まって遊べる児童館のような施設が各地域にほしい。	23件